

# 非接触バイタルセンサ

# 1. 背景 & 概要

背景	<ul style="list-style-type: none"><li>◆ システムの高機能化に伴い、新規センサの採用が進んでいる。</li><li>◆ 家電・車載分野においては、様々な目的の<b>人感センサ</b>の重要性が増している。</li></ul>
概要	<ul style="list-style-type: none"><li>◆ <b>人感センサ</b>としては、<b>人検知</b>、<b>人の動線検知</b>、接触または非接触での<b>バイタル生体情報検知</b>に層別される。</li><li>◆ <b>人検知</b>に関しては、住宅等での比較的狭い空間での赤外線による<b>焦電センサ</b>が実用化されている。</li><li>◆ <b>人の動線検知</b>に関しては、公共機関やホール等で<b>カメラ画像を画像認識</b>して判定する技術の展開が進んでいる。</li><li>◆ <b>バイタル生体情報検知</b>に関しては、<b>呼吸</b>、<b>脈拍</b>、<b>体温</b>、<b>血圧</b>の<b>1次情報</b>の活用から、さらにセンサ信号の波形認識に基づく<b>ストレス</b>、<b>健康状態</b>、<b>感情</b>、<b>意思</b>等の<b>2次情報</b>の検出・活用に技術がシフトしつつある。</li><li>◆ その他、人の表情検知、ジェスチャー検知等のニーズ等多岐にわたる。</li></ul>
目的	<ul style="list-style-type: none"><li>◆ 本テーマでは、<b>バイタルの1次情報</b>を検知可能なシーズの提案を募集する。 また、<b>バイタルの2次情報</b>の提案も募集する。</li><li>◆ <b>呼吸</b>、<b>脈拍</b>、<b>体温</b>、<b>血圧</b>の<b>検知率[%]</b>と<b>検知範囲[m]</b>を2軸とした<b>見える化指標</b>を採用する。</li></ul>